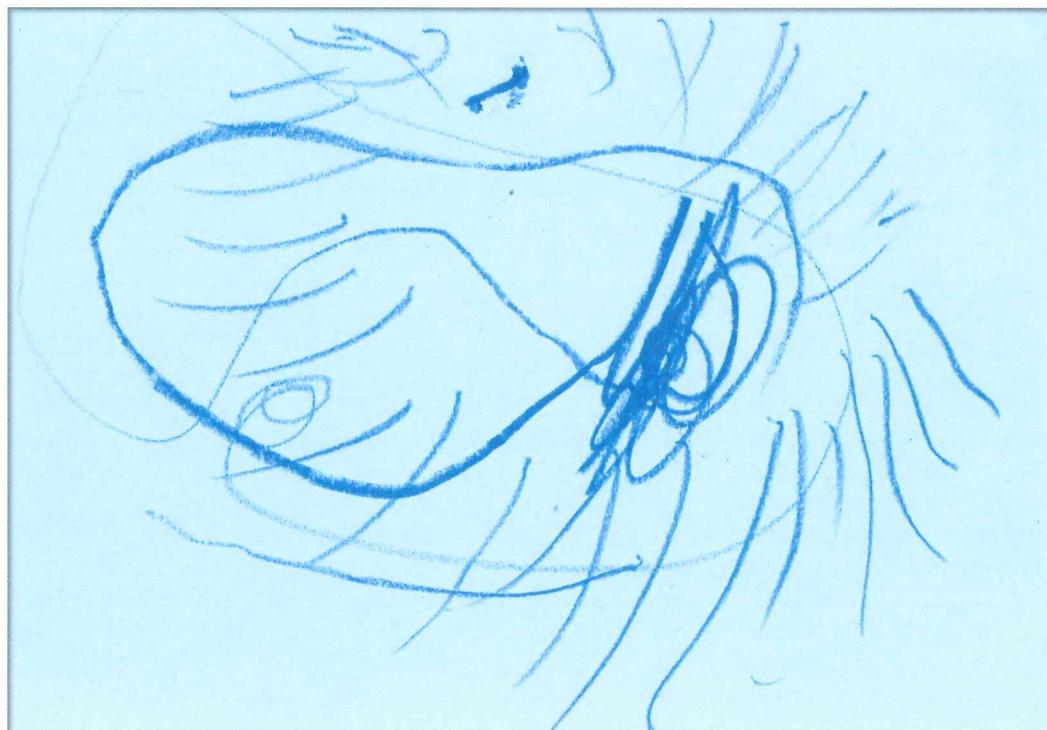


児童発達支援事業所

ひまわり



児童発達支援
保育所等訪問支援



好かれる秘密はたった一つ。。。
それは、自分から相手を好きになるうと思ふこと。

“ひまわり”ってどんなところ？

発達に心配のある就学前の子どもたちを支援する場所です

「基本的な生活習慣がなかなか身につかない・・・」

「お友達となかよく遊べなくて・・・」

「落ち着きがなくて、じっとしてられない・・・」

「ことばでのやりとりがなかなかできない・・・」



行動が気になるお子さんたちや、普段の生活の中で気になることや心配なことがあるお子さんたちに対して、保育士と指導員が活動や遊びの中で、それぞれの特性をつかんでプログラムを作り、一人一人の能力を伸ばすことによって、就学に向けての自立のお手伝いをします。

お子さん一人ひとりの特性や個性をふまえて、個別の支援計画をもとに小集団での生活や個別指導を通して、それぞれのお子さんに合わせたところとからだの成長を促していきます

- 日常生活動作の指導（排泄、食事、着脱など）
- 集団生活への適応能力を高める療育指導（集まり、ルールのある遊び、机上での活動など）
- 一人一人の能力を伸ばす療育指導（運動あそび、感覚あそび、工作など）

ご家庭や関係機関との連携を図り、お子さんやご家族へのサポートを行います

- 保護者懇談（年2回／お子さんの様子や目標の共有、目標の評価など）

“ひまわり”を利用するにはどうしたらいいの？

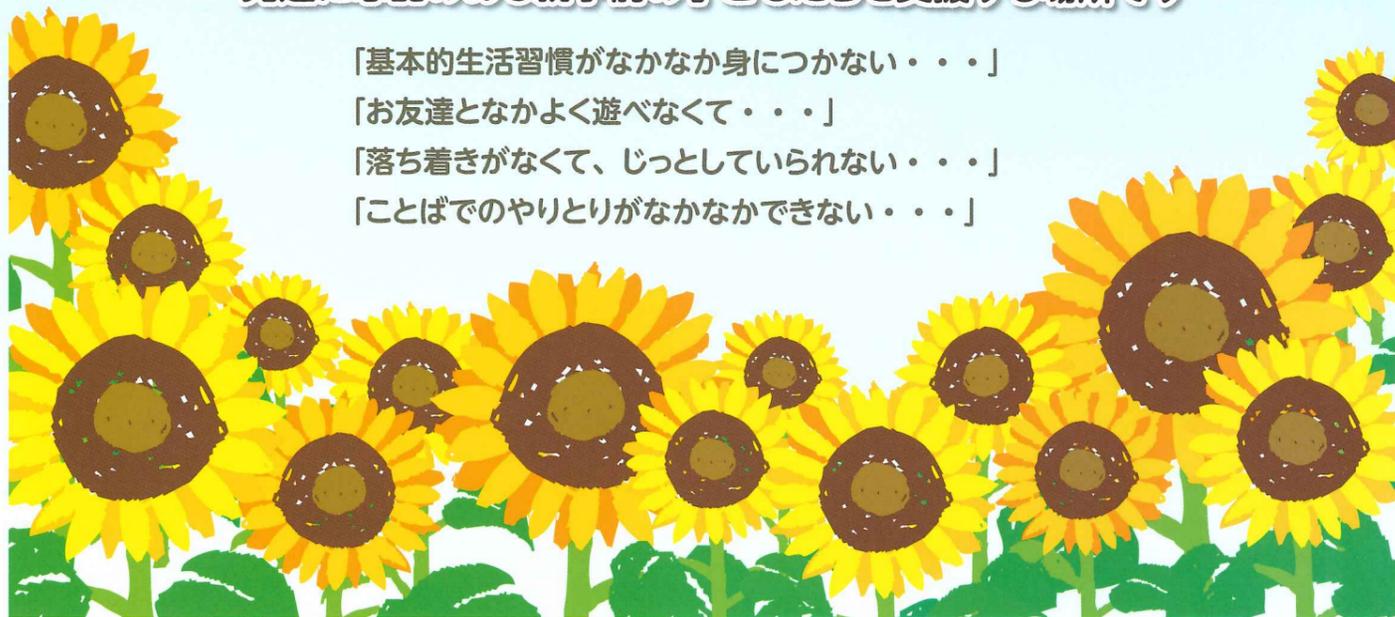
- 随時、見学を受け付けております。ご希望の方は、事前にご連絡ください。
- ご利用にあたっては、出雲市役所健康福祉部福祉推進課（TEL:0853-21-6530）で児童発達支援給付の手続きが必要です。児童発達支援給付費の支給決定後に当事業所と契約をして利用開始となります。
- 申込書類は、市役所とひまわりに備えています。



“ひまわり” ってどんなところ?

発達に心配のある就学前の子どもたちを支援する場所です

- 「基本的な生活習慣がなかなか身につかない・・・」
- 「お友達となかよく遊べなくて・・・」
- 「落ち着きがなくて、じっとしてられない・・・」
- 「ことばでのやりとりがなかなかできない・・・」



行動が気になるお子さんたちや、普段の生活の中で気になることや心配なことがあるお子さんたちに対して、保育士と指導員が活動や遊びの中で、それぞれの特性をつかんでプログラムを作り、一人一人の能力を伸ばすことによって、就学に向けての自立のお手伝いをします。

お子さん一人ひとりの特性や個性をふまえて、個別の支援計画をもとに小集団での生活や個別指導を通して、それぞれのお子さんに合わせたところからだの成長を促していきます

- 日常生活動作の指導（排泄、食事、着脱など）
- 集団生活への適応能力を高める療育指導（集まり、ルールのある遊び、机上で活動など）
- 一人一人の能力を伸ばす療育指導（運動あそび、感覚あそび、工作など）

ご家庭や関係機関との連携を図り、お子さんやご家族へのサポートを行います

- 保護者懇談（年2回／お子さんの様子や目標の共有、目標の評価など）

“ひまわり” を利用するにはどうしたらいいの?

- 随時、見学を受け付けております。ご希望の方は、事前にご連絡ください。
- ご利用にあたっては、出雲市役所健康福祉部福祉推進課（TEL:0853-21-6530）で児童発達支援給付の手続きが必要です。児童発達支援給付費の支給決定後に当事業所と契約をして利用開始となります。
- 申込書類は、市役所とひまわりに備えています。



“ひまわり” の利用料は?

- 1回の利用ごとに、サービスにかかる費用の1割が必要です。ただし、保護者の収入に応じて月額の上限があります。1ヶ月分をまとめた請求となります。
- その他に、昼食代等の費用がかかります。

“ひまわり” の利用内容は?

【児童発達支援】

- 定員：10名（1日）
- 時間：月・火・水・木・金・土 / 午前9時～午後4時
（祝日・お盆・年末年始は休館日）
- 日課
 - 9：00～ 来所、支度
 - 9：30～ 朝の集まり
 - 10：00～ 活動
（運動活動、制作活動、散歩など）、
個別指導、自由遊び
 - 11：30～ 昼食準備、昼食、歯磨き
 - 12：15～ 自由遊び、個別指導、午睡
 - 14：00～ 活動（制作活動、散歩など）、
おやつ、自由遊び
 - 15：45～ 帰りの集まり
 - 16：00 降所
（※状況に応じて随時変更もあります）



●持ち物

- ・手拭きタオル（ひも付き）
- ・コップ・歯ブラシ
- ・箸（又はスプーン・フォーク）
※袋に入れてください。
- ・水筒
- ・連絡帳
- ・パジャマ
- ・着替え
※着替え袋に入れてください。
汚れたものを入れる袋もご用意ください。
- ・帽子

【保育所等訪問支援】

- 時間：火・水・金 / 午前9時～午後5時



“ひまわり” のスタッフは?

- 児童発達支援管理責任者、保育士、指導員

運営理念

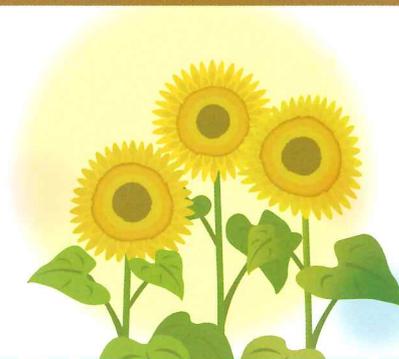
-  子どもたちの特性をふまえて、それぞれの能力に応じてのびのびとした日常生活を営むことができるように必要な力を育てます
-  支援内容は子どもを中心に、個と周りの環境の両面から支援計画を立てて、きめ細やかに実施します
-  地域との結びつきを大切にして、関係機関と連携を密に図り、総合的に子どもと家族の支援をします
-  楽しく療育や個別指導が受けられ、さらに子どもとその家族が安心して通える憩いの場になるように努めます

佐藤比登美医学博士の紹介

<経歴>

京都大学医学部医学科 卒業
 国立京都病院・京都大学附属病院小児科 勤務
 米国国立生成研究所へ渡米
 滋賀大学教育学部教授（障害児病理学）
 ノースカロライナ州立大学精神科に渡米派遣
 文部科学省短期在外研究員として再度渡米
 島根大学教育学部教授
 現在、さつきクリニック医院長兼務での活躍

設立代表者の佐藤比登美ドクターは、20数年に亘って教育系大学において、小児神経学を専門とする医学的立場から障害児教育に携わり、教員養成は無論、現場教師や保護者の医療教育相談等を実践してきました。特に10数年前からは、養護学校に在籍する自閉性障害児や作業所で働く年長自閉性障害者のパニック発作などの問題行動やてんかん発作の治療に関わるようになり、その行動障害に関心を持って研究を進め、大学を中心としてTEACCHプログラムの実践に努められてきました。特に自閉性障害を中心とする社会性及びコミュニケーションに障害を持つ方の療育に力を注ごうと決意し、「自閉性スペクトラムを中心とする障害児療育施設のメッカにしたい」と熱く語っています。
 (理事長 今岡 實)



お問い合わせ先

認定NPO法人 療育センター燦々

児童発達支援事業所

ひまわり

〒691-0001

島根県出雲市平田町中ノ島7377

TEL 0853-25-8061

FAX 0853-25-8071

E-mail sansan@iaa.itkeeper.ne.jp